

キーマシンに関する重要なお知らせ

【 現在キーマシンをお使いのお客様へお知らせ致します 】

拝啓

日頃は弊社製品をご愛用いただきまして、誠にありがとうございます。
さて、初期生産、2001年7月発売のRC-101型キーマシンにおきまして2007年11月20日付けでキーマシンの発火防止に関する定期点検のお願いと、インレット方式の電源コードプラグを無償にて直結式に取り替える修理 受付のご案内を以前にもお知らせしておりますが、近年に至ってまだ数件の漏電による電線コードの発火事故の報告を受けております。当時、弊社は事故の重大性からお客様に対し、早急にリコール（無償回収修理）のご連絡を差し上げ、自主回収をさせていただきました。その後このモデルは2003年4月3日付けより電源コードを改良し（モーターとの直結方式 RC-101E型）に仕様変更をしておりますが、ご連絡が行き届かなかったお客様には大変申し訳ありませんでした。また弊社商品販売代理店各社には、お取引先様にお知らせ頂く様、再三お願いしておりますが、まだ修理点検をされていない下記モデルのキーマシンをお使いのお客様は今一度ご確認して下さい。

敬具

※ 対象となる RC-101 型キーマシン（ 本体色は黒色です ）



※RC-101型キーマシン本体側面のプレートにシリアルNo.の表示があります。

対象シリアルNo.：101A0####、101B0####、101C0####、101D0540 まで（#は数字）

※電源コードプラグをキーマシン本体のコネクター部に差し込むタイプです。

※上記以外のシリアルNo.及び電源コードプラグがモーターの配線と直結になっている
タイプの取替え交換は必要ありません。

【 事故の状況 】

当初の RC-101 型キーマシンの事故調査結果は、取り外し側の電源コード取付け位置が、機械背面（モーター位置の下近く）にある為、確実に差し込んでいるか、否かの確認が判りにくく、また設置後にキーマシンを動かした際に電源コードプラグが確実に奥まで入っていない状態になり、其の状態でキーマシンを長時間にわたりご使用を続けられたことが原因となって、トラッキング現象（注1）を引き起こし、結果、発煙に至った事が判明いたしました。

（注1） トラッキング現象とは、キーマシン本体側のコネクタとの隙間にホコリやゴミ、切粉などが溜まり、それが湿気を帯びた場合に漏電します。電気が漏電すると発熱しプラグが溶けてしまいます。それを長時間に渡って放置しますと経時と共に漏電部が沿面放電し炭化部分から発火する現象のことを言います。

【 弊社の対応 】

対象機種 RC-101 型キーマシンをご使用中のお取引先様に対し、インレット電源コード方式から、インレットを使用しない直接電源方式のコードに無償交換のサービスを提供しております。ご使用中のシリアルNoと電源コード方式をご確認して頂き、弊社カスタマーサービスまでご連絡下さい。また修理期間中は弊社の改良型 RC-101G キーマシンを修理が完了するまで、無償でお貸し致します。

※対象のシリアル No 以外の RC-101G 型キーマシンは直接電源方式のコードを採用しておりますので交換の必要はありません。

【 発売当初からの経緯 】

インレット電源コード方式（抜き差しが出来る電源コード）のキーマシンは、既に皆様もご存知のコンピューターマシンやマトリックス等、電気用品安全保安法（PSE）を取得済みの機械にも採用され現在までに一度も事故は起こっておりません。

RC-101 型キーマシンのインレット方式電源コードプラグ式のパーツに於きましては、JQA（財団法人日本品質保証機構）にて審査を通り、使用に問題のないことを確認してから発売していましたが、その後 数件の電源コードの事故報告を受け、お客様の安全を第一に考え対象機種の無償修理を現在も継続し実施しております。

当初の RC-101 型キーマシンは PSE の規制も無くホコリや切屑粉を想定した使用状況下での検証は行われておりませんでした。2007年12月27日法令が変わり経済産業省の指示のもと、キーマシンも電気工具などと同類の電気製品として分類され PSE の取得が義務付けられました。

現在、販売中の RC-101G 型キーマシンやマトリックスも電気用品安全法に基づいた試験に合格し、PSE マークを取得しております。しかしより安全にご使用頂くため、日々の清掃と点検、耐久年数を越えたパーツの定期的な交換は必ず行って下さい。

【 万が一の為、この様な事故を防止するためには・・・ 】

インレット電源コードの取付いたキーマシン、その他のキーマシンをご使用中のお客様においても、より安全にご使用頂く為に下記注意事項をお守りの上ご使用下さい。

特に 10 年以上経過した旧式の C L 型キーマシンや K G 型キーマシン等、長期間にわたりご使用されている機種は、今一度 下記の点検・確認をして下さい。

- ①必ずご使用前にキーマシン本体側のコネクター部のホコリ、ゴミ、切削粉の清掃、コンセントプラグが奥まで差し込まれているか必ず確認を行ってください。
- ②コンセント側のプラグも機械側のプラグと同様に掃除機等でホコリ、切削粉を吸い取り除いて下さい。
- ③コンセントプラグやコードに傷や裂傷が無い、コードの被覆が剥がれては無いにご確認下さい。
- ④モーター本体の取付け部や各通電箇所等の接点や接続箇所が確実に取り付いているかご確認下さい。
- ⑤モーター付近や操作盤などの基盤に付着している切削粉等の掃除をする場合は、モーターや基盤操作盤などの中にホコリ、切削粉が入らない様に注意して清掃して下さい。※エアガン等による噴きつけの清掃は機械の故障だけでなく漏電し発火する原因になりますので絶対に避けて下さい。必ず、掃除機等でホコリ、切削粉を吸い取って下さい。
- ⑥ご使用にならない時は必ず電源を切る様にお願ひ申し上げます。
- ⑦カットしない状況での長時間の空運転などはカッターで重大な怪我を起こす要因になりますので絶対に避けて下さい。
- ⑧長期間使用しない時はコンセント側のプラグは抜くようにして下さい。通電しているだけでモーターの寿命は短くなります。
- ⑨ご使用上問題がなくても、既に 5 年以上経過（キーマシンの保障期間は 1 年）しご使用を続けておられるキーマシンはモーターや基盤・コンデンサ等の電子機器は耐久消耗品で耐久年数がありますので、故障や漏電事故に繋がる恐れがあります。1 年に一度は弊社まで定期点検に出して頂くことをお勧め致します。

※RC-101 型キーマシンのモーター寿命は機種によっても異なりますが、おおよそですが毎日鍵を 50 本カットした場合、約 5 年～7 年です。基本的にモーターも保障期間は 1 年間ですがモーターメーカーの見解では負荷をかけた状態で 1 日 8 時間連続使用し約 5000 時間までが性能保証の対象となります。モーターの性能保証時間以上お使いのキーマシンはモーターの交換をお勧めいたします。

※ お使いのキーマシンの定期点検は無償にて行いますのでお申し付け下さい。
尚、恐縮ですが往復の送料のみ実費でお支払いの程お願いします。
消耗パーツやモーター等の交換に関してはお見積もりの上、有償にて交換させていただきます。何かご不明な場合もお気軽にお問合せ下さい。

2011 年 12 月 5 日

お問い合わせ先 株式会社クローバー カスタマーサービス

TEL06-6844-2111(代) fax06-6844-1147